

こころのはな

2年生 道徳 ～よりよい学校生活～

2年生では、「ひかり小学校のじまんはね」という教材を使って学校生活について考えました。1年生に学校の自慢を伝えようとするけんた君たち。しかし、なかなか思い付きません。校長先生に話を聞きに行くと、学校にいる子どもたちのことや学校にずっとあるものについて教えてくれました。それを聞いて、けんた君たちも自分たちでもっと見つけた気持ちになりました。今回の道徳を通して、2年生も大海小学校のよさについて改めて考えてみました。はじめは、運動場や学校の中のことが主でしたが、班や全体で話し合っていく内に、徐々に学校にいる人や学校の外のことなどにも視野が広がっていきました。大海小学校には自慢できる「いいところ」がたくさんあることをみんなで感じる事ができました。振り返りでは、学校生活について気が付いたことや考えたことをじっくりふりかえることもできました。



～振り返りから～

- ・学校のいいところを班で話し合って、いいところがいっぱいあって、学校にこんなにいいところがあるんだと思いました。
- ・人のことでいいところもを見つけました。もっと大海小学校のいいところを見つけたいです。
- ・学校のいいところをみんなではなしあうと、なんだか学校がすごく大好きになってきました。
- ・もっと学校のみんなが、えがおになる学校にしたいです。学校のきまりをもっと守って、楽しい学校にしたいです。

「親子の手紙」について

石川県では、毎年「親子の手紙」という取り組みを行っています。大海小学校でも、毎年すべてのご家庭で取り組んでいただいています。日頃、なかなか口にできない親子のそれぞれの思いを「短い手紙」に表現して、互いの気持ちを理解することや家族の話し合いを大切にしようとする心を高めるために行っています。

手紙の内容は、主に家庭のあたたかさ家族の会話の大切さなどをもとにした、心のかよったものが好ましいです。100字以内で書いてください。（、。 「 」も1字として数えます）

締め切りは6月21日（金）です。書いたら担任の先生に提出してください。学校でまとめて送りますので、はさみで切ったり、のりで貼ったりはしないで下さい。

この機会に大人から子どもへ、子どもから大人へ、普段なら言えない日ごろの思いを手紙に書いて伝え合ってみてはどうでしょう。ご協力よろしくお願いいたします。